慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	序
Sub Title	
Author	十時, 嚴周(Totoki, Toshichika)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1980
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.53, No.12 (1980. 12) ,p.3- 4
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	法学部法律学科開設九十周年記念論文集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19801215--003

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序

学部機関誌の消長は、学部の歴史そのものである。それは、学部の栄枯盛衰を象徴する。

法学部機関誌『法学研究』は、戦前、特別号を編集することはなかつた。しかし、戦後は、機会あるごとに特別号を刊行してきた。退職者記念論文集、物故者追悼論文集、永寿者祝賀論文集、学科開設記念論文集、研究主題に関する問題特別号等々である。

学科開設記念論文集としては、法律学科開設七十周年記念論文集（法学研究三十三巻十二号）が昭和三十五年、政治学科開設七十周年記念論文集（四十一巻五号）が昭和四十三年に、それぞれ出版されている。そして、本年、法律学科開設九十周年記念論文集を刊行することになつた。それは、七十周年記念論文集につぐ第二回目の試みである。

七十周年記念論文集の「序」は、西本辰之助名誉教授によって書かれている。序文は、法律学科草創期の歴史を生き生きと伝えている。明治二十三年法律学の教授を始めた慶應義塾には慶應出身の法律学の教員は無く、専門学の教授は総て他から招聘していた。然るに明治三十五年第一回留学生が帰朝するに及んで慶應義塾の専門学の教授は面目を一新、法律学科の基礎は新帰朝者神戸寅次郎、青木徹二の両先生によつて築かれた、とされている。

西本先生の序文は、昭和三十五年十二月一日付けとなつている。ほぼ二十年前のことである。その折、法律学科の創業に参画された西本先生の脳裡を去来した思いは、一体、どのようなものであつたろうか。そして、あとに続く法律学科専任者に託そうとされた思いは、どのようなものであつたのだろうか。

同記念論文集の編集後記は、当時、編集委員長であつた小池隆一教授によつて、格調高く述べられている。

はるかに往時を偲び、その発展の跡を辿れば、寔に感慨無量なるものがある。いま、悠久に展開する歴史の一點にたち、創立七十周年を慶祝する意味は、啻に過去の成長を壽ぐのみならず、将来の飛躍への決意をあらたにすることに他ならない

と。

われわれがいま刊行しようとしている九十周年記念論文集は、神戸、青木、西本、小池の諸先生から継承した、法律学科そのものの「存在証明」でなければならない。更らに、百年、百五十年、二百年に向けての、法律学科自体の「道標」となるべきものである。

百周年、百五十周年、二百周年の記念論文集に執筆するであろう研究者は、何を思い何を考え何を研究している人たちであろうか。

学部機関誌は、学部の永遠の「顔」である。

昭和五十五年十一月十日

法学部長　十時巖周